

R D 事業に関する周辺自治会との話し合い資料

有害物調査（1次調査）について

滋賀県琵琶湖環境部最終処分場特別対策室

1. 了解いただきたい事項

(1) 1次調査ボーリング実施に直接関係する事項（本日了解いただきたい事項）

(ア) 1次調査ボーリング位置

表層ガス調査結果に基づきボーリング位置を決定する。

位置決めに疑義のない区画については直ちにボーリング調査を行う。（1月中旬着手予定）

他の区画（VOC 最高値区画が複数ある区画等）については、1/23 委員会の助言を踏まえて位置決定し、住民の皆さんの了解を得た上でボーリングを行う。

(イ) 試料採取（資料1 P.4-4）

VOC は等量混合する廃棄物層の最深部付近および浸透水面付近で採取する。

重金属類等分析試料は、約3mを1層として1～3層の試料を等量混合する。

(ウ) 廃棄物分析（資料1 P.4-4）

含有量基準値を超過した場合で、かつ有機物が多く残存し、今後有機物の分解に伴う酸性化が懸念される箇所では、必要に応じて公定法以外の分析を実施する。

含有量基準値を超過した場合で、かつ溶出液の pH が酸性を示す箇所では、必要に応じて公定法以外の分析を実施する。

具体的な分析方法や、分析を実施するかどうかの判断基準については有害物調査検討委員会に諮る。

(エ) 孔内ガス調査（資料1 P.4-3）

資料1のとおり孔内ガス調査を行う。

(2) 他の事項

(ア) 浸透水・地下水分析に供する試料の取り扱い（資料1 P.4-6）

試料は原則として全量分析とする。

ただし、濁りが認められる場合は、全量分析と併せてろ液分析も実施する。

分析結果の評価は委員会の助言を踏まえて行う。

(イ) 既存データ資料

R D 最終処分場問題対策委員会第5回専門部会の参考資料1の更新版を1/23までに各自治会および有害物調査検討委員会委員に提供する。

資料1の「表-2.1 既存調査の項目一覧」の根拠データを1/23までに各自治会および有害物調査検討委員会委員に提供する。

2. 今後のスケジュール

(1) 現在の段階

表層ガス調査がほぼ終わり、VOCまたは硫化水素が検出された箇所のうち、疑義のない箇所について1次調査ボーリング位置を決め、ボーリング調査に入ろうとする段階

(2) 今後のスケジュール

- ・1/23に第2回有害物調査検討委員会を開催し、以下の事項について助言を得る。
 「疑義のない箇所」以外の1次調査ボーリング箇所について（位置の決定）
 必要に応じて行うとしている追加分析（層別分析、公定法以外の分析）について
 （追加分析を行うにあたっての課題の整理）
 水質観測井戸について（井戸位置決定の考え方の整理）
- ・上記 について具体的な案を作成し、第3回有害物調査検討委員会で助言を得る。（3月）
- ・委員会の結果を踏まえて住民の皆さんと話し合いを行い（2月上旬、3月）、1次調査を進める。

(3) その他

- ・ボーリング調査についてはできるだけ早く現地説明会を行う。
 （説明会以外の日に見学を希望される場合は、事前に最終処分場特別対策室にご連絡下さい。）
- ・水処理施設処理水を下水道に放流するための下水道接続工事を2月に契約して実施する予定。

